福中・福高創立100周年記念事業

募金趣意書

日々に新たなり

The 100th Anniversary Since 1917（T6）

日々に新たなり

100th

福中　福高

100周年ロゴマーク

福中･福高は、創立から100年、これまでの激動の時代の中で、様々な出来事を乗り越えてきた。輝かしいことも、苦悩したこともあった。しかし、そこには一貫するものがあった。「脈々と受け継がれてきた伝統」、「不屈の心」である。この『福高魂』は福高の象徴、正面玄関に聳え立つ『フェニックス』に宿っている。私たち福高は、100周年を機に、今までの伝統に甘んじることなく「日々に新たなり」の高い志を持って、新しい時代に向け先頭を切って駆け上がり、更なる輝きと発展を遂げ、過去から未来へと『福高魂』を受け継いでいくことを誓う。

福中・福高創立百周年記念事業実行委員会

〒812-0043
福岡市博多区堅粕1丁目29番1号
福岡県立福岡高等学校　福高記念館内
TEL 092-641-7258　　FAX 092-641-3923
E-mail　f-chiyogento@alpha.ocn.ne.jp
同窓会HP http://fukuchu-fukkou.jp/

これまでの周年事業

図書館と全館防音化（40 周年）

体育館、研修学園、生徒食堂（50 周年）

グランド、講堂、教育指導室、会議室（60 周年）

福高記念館（70 周年）

福高パティオ（80 周年）

校史資料室、展示室、食堂改修等（90 周年）

同窓の皆さまへ

我が福岡県立福岡高等学校は、「至誠業ヲ勵ミ、剛健風ヲ成シ、操守堅固ナルベシ」の校訓のもと、大正６年4月1日、福岡県立福岡中学校として開校され、爾来幾星霜を積み重ね、来る平成29年に創立100周年を迎えることとなりました。

建学以来の本校の歩みを顧みるとき、同窓各位におかれましては、誠に感慨深いものがおありのことと存じます。

この度の100周年は、同窓生の絆を深める場となると同時に、福中・福高の歴史を通じて多彩なる人材を世に輩出してきた実績と、その中に脈々と息づく福中・福高の伝統を検証し、次世代への継承を確固たるものにする契機となると存じます。

つきましては、実行委員一同、母校創立百周年記念事業を成功させるための最善の努力を惜しまない覚悟でございます。同窓の皆様には、絶大なるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年10月吉日

福中・福高創立百周年記念事業実行委員会
会　長　　新　宮　松比古
（福中・福高同窓会 会長）

募金推進委員会
委員長　　川　原　正　孝
（福中・福高同窓会 副会長）

寄附金を活用する記念事業

1　100周年記念式典、記念行事等

・記念式典　・部活動記念招待試合　・記念福高祭、体育祭　・記念講演会及びパネルディスカッション　・記念音楽会　・記念誌及び記念文集の作成　・その他教育振興補助

2　公益財団法人福中・福高同窓会奨学財団

・奨学金交付助成
・海外研修・福高グローバル研修・日本の中枢で学ぶ研修・伝統文化研修等への参加補助

3　百周年記念講堂（仮称）（平成31年2月竣工予定）の設備整備等

・空調、移動式椅子、緞帳等の整備
・昭和4年竣工の校舎（平成24年3月福岡県「有形文化財(建造物）」指定）の保存と耐震補強を兼ねた大規模改造工事（平成29年3月まで）竣工にあわせた、各時代ごとの教室等を映像で復原するデジタル映像装置の設置

福中・福高創立 100 周年記念募金事業

募金名称　　福中・福高創立 100 周年記念募金

募金目的　　福中・福高創立 100 周年記念事業に要する資金調達のため

募金目標額　　3 億 4,330 万円

募金項目

募　金　項　目	募　金　目　標　額
(1) 100 周年記念式典、記念行事等 ・記念式典　・部活動記念招待試合　・記念福高祭、体育祭 ・記念講演会及びパネルディスカッション　・記念音楽会 ・記念誌及び記念文集の作成　・その他教育振興補助	1,530 万円
(2) 公益財団法人福中・福高同窓会奨学財団 ・奨学金交付助成 ・海外研修、福高グローバル研修 ・日本の中枢で学ぶ研修、伝統文化研修等への参加補助	1 億円
(3) 百周年記念講堂（仮称）の設備整備等 ・空調、移動式椅子、緞帳等の整備 ・各時代ごとの教室等を映像で復原するデジタル映像装置の設置	2 億 2,800 万円
合　　計	3 億 4,330 万円

募金目標額の内訳

募　金　項　目	区　　分		募金目標額
(1) 100 周年記念式典、記念行事等	高1～51回	各学年30万円	1,530 万円
(2) 公益財団法人福中・福高同窓会奨学財団	中　学	1,000 万円	1 億円
	高　校	9,000 万円	
(3) 百周年記念講堂（仮称）の設備整備等	高校全日制	1 億 9,600 万円	2 億 2,800 万円
	高校定時制	500 万円	
	企業等	2,700 万円	
	合　　計		3 億 4,330 万円

※高校の各学年募金目標額は、本年4月23日、募金推進委員会・同窓会委員に提示しております。

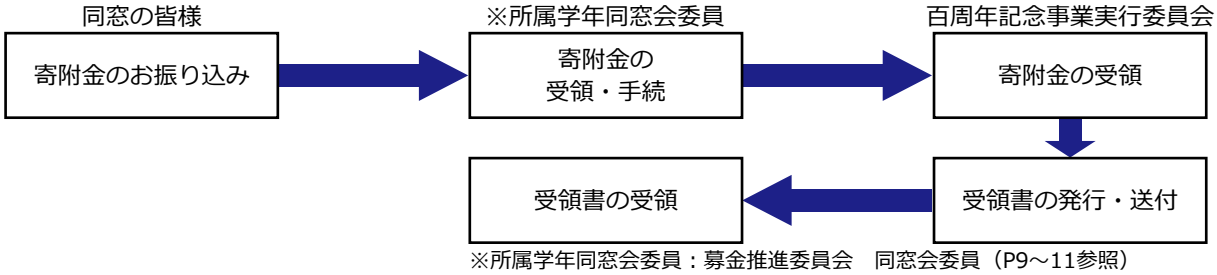
募金期間

募　金　項　目	募　金　期　間
(1) 100周年記念式典、記念行事等	平成27年　4月1日～平成27年8月31日
(2) 公益財団法人福中・福高同窓会奨学財団	平成27年11月1日～※平成29年6月30日
(3) 百周年記念講堂（仮称）の設備整備等	平成28年　7月1日～平成29年6月30日

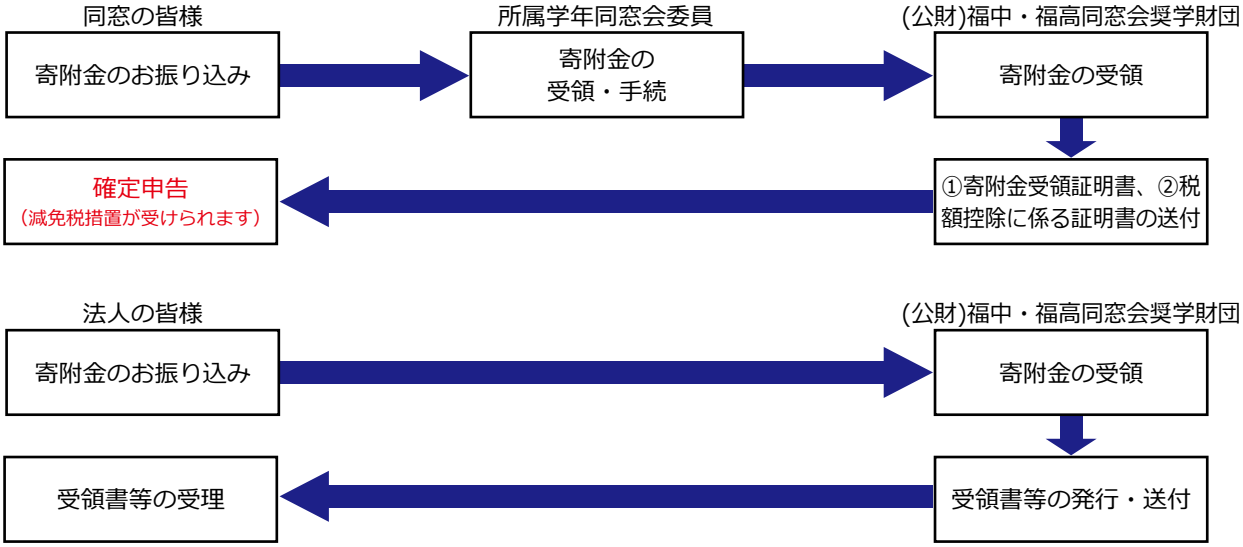
※公益財団法人福中・福高同窓会奨学財団への募金につきましては、募集期間は平成29年6月30日までとなっておりますが、同窓会奨学財団の活動はその後も続きます。末永い応援をお願いいたします。

ご寄附の方法についてのご案内

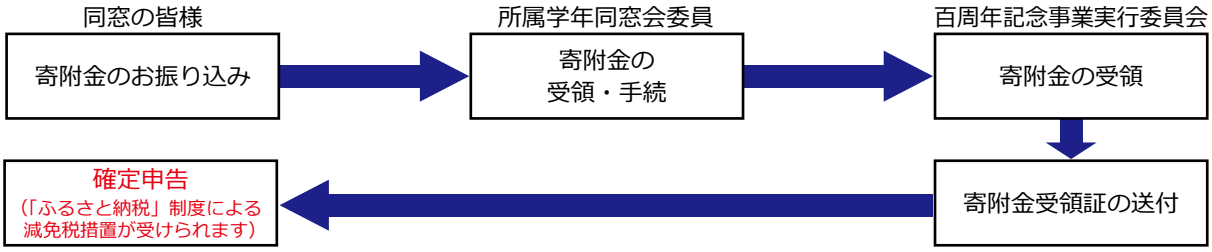
1　100周年記念式典、記念行事等



2　公益財団法人福中・福高同窓会奨学財団



3　百周年記念講堂（仮称）の設備整備等



寄附金控除につきまして（詳細は P6 ～ 8 をご覧ください）

募　金　項　目	寄 附 金 控 除
(1) 100周年記念式典、記念行事等	対象になりません
(2) 公益財団法人福中・福高同窓会奨学財団	対象になります
(3) 百周年記念講堂（仮称）の設備整備等	対象になります （※「ふるさと納税」制度も適用されます）

ご寄付いただいた皆さまへの感謝・顕彰

今回、ご寄附頂いた方のご芳名は、全て百周年記念誌に掲載します。なお、5万円以上ご寄附頂いた方は、銘板に刻銘し、末永く顕彰させて頂きます。（公表を希望されない方については、掲載および刻銘はいたしません。）

寄附金控除のご案内

福中・福高創立百周年記念事業の募金活動のうち次の２つは、寄附金控除が受けられます。

１「公益財団法人」への寄附　　寄附金控除（所得控除）または特別控除（税額控除）

福中・福高同窓会奨学財団は、平成26年8月設立の「一般財団法人」から、福岡県より寄附金控除が受けられる「公益財団法人」への移行が平成27年10月認可されました。その後直ちに、福岡県知事に対し税額控除が受けられるように申請し、平成27年11月以降5年間、税額控除が受けられる「公益財団法人」として承認されました。その結果、公益財団法人福中・福高同窓会奨学財団への寄附者は、所得控除である寄附金控除の適用（A）を受けるか、税額控除である特別控除の適用（B）を受けるか、有利な方を選ぶことができることとなりました。

《計算式は下記のとおりです。ただし、限度額があります。詳細につきましては、税理士等にご相談ください。》

（A）寄附金控除の場合（所得控除）

（その年中の公益財団法人に対する寄附金 － 2,000円）　＝ 寄附金控除額

（B）特別控除の場合（税額控除）

（その年中の公益財団法人に対する寄附金 － 2,000円）×40%

＝ 公益財団法人等寄附金特別控除額

《具体的手続き》

公益財団法人に寄附をして頂きますと、寄附して頂いた方に「公益財団法人発行の寄附金受領証明書」と「福岡県知事による税額控除に係る証明書」を公益財団法人から送付いたします。寄附をして頂いた方はこの二つの書類を添えて翌年3月15日までに確定申告して頂きますようお願いします。

《募金期間》

百周年記念事業としては平成27年11月1日～平成29年6月30日までとなっておりますが、同窓会奨学財団の活動はその後も続きます。末永い応援をお願いいたします。

2「百周年記念講堂（仮称）の設備整備等」への寄附　　ふるさと納税

百周年記念講堂（仮称）の設備整備等のための2億2,800万円を目標とする募金活動は、上記設備が完成したのち、その設備を福岡県に寄附するという目的であることから、いわゆる「ふるさと納税」に該当します。

《計算式は下記のとおりです。ただし、限度額があります。詳細につきましては、税理士等にご相談ください。》

ふるさと納税は、所得税の所得控除と住民税の税額控除を併せて、寄附金額から2,000円を引いた金額を納付すべき税金から控除されるという制度です。

すなわち

① 所得税：（寄附金―2,000円）を所得控除　・・・（所得控除額×所得税率）を軽減

② 住民税：個人住民税基本分　・・・　課税所得に対する１０％の税額控除

また　③ 個人住民税特例分の税額控除として、①、②で控除できなかった寄附金額 を全額控除されます（ただし、所得割額の2割を限度）

以上①、②、③により、（寄附金額―2,000円）のほぼ全額が税金から控除されることになります。

《計算例》

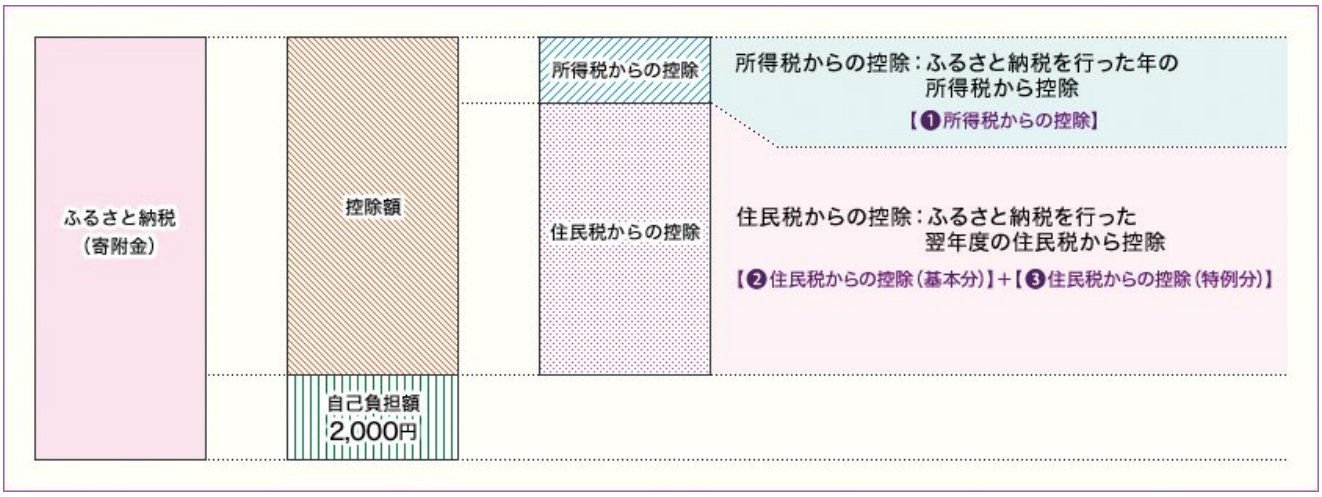
所得税率20%の納税者が3万円を寄附された場合

① （所得税）　（30,000円―2,000円）×20%＝5,600円

② （住民税基本分）（30,000円―2,000円）×10%＝2,800円

③ （住民税特例分）（30,000円―2,000円）×（90%―所得税率20%）
＝28,000円×70%＝19,600円

上記①、②、③の合計額　5,600円＋2,800円＋19,600円＝28,000円



総務省ふるさと納税ポータルサイトhttp://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_zeisei/czaisei/czaisei_seido/furusato/mechanism/deduction.html

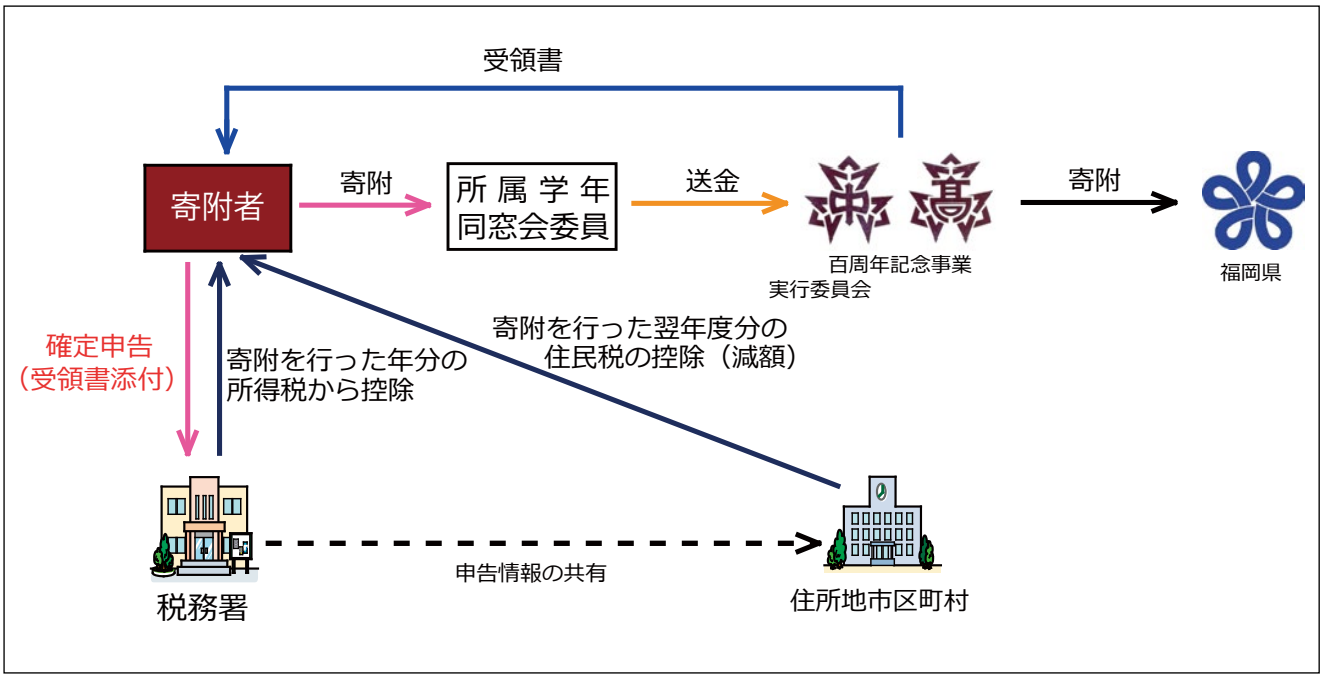
《具体的手続き》

百周年記念講堂（仮称）の設備整備等のための寄附をして頂きますと、寄附して頂いた方に「受領証」を福中・福高百周年記念事業実行委員会から送付いたします。

平成28年中に寄附された方は、この書類を添えて翌平成29年3月15日までに確定申告をして頂きます。また、平成29年6月30日までに寄附された方は、翌平成30年3月15日までに同様に確定申告して頂きますようお願いします。

《募金期間》

ふるさと納税となる設備関係募金は福岡国税局長の承認を得て、平成28年7月1日から平成29年6月30日まで1年間の期間限定で募集します。



総務省ふるさと納税ポータルサイトを元に作成（http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_zeisei/czaisei/czaisei_seido/furusato/mechanism/deduction.html）

※ふるさと納税については、総務省から給与収入ごとに実質2,000円の負担となる寄附金の目安表などが公表されていますので、ご参照ください。（右QRコード：総務省ふるさと納税ポータルサイト、ふるさと納税のしくみ解説）

※寄附金控除詳細については、「朝ぼらけ」や同窓会ホームページに掲載予定です。（右QRコード：福中・福高同窓会HP）

福中・福高創立百周年記念事業実行委員会

会　　長　新宮 松比古（高9回・福中・福高同窓会会長）
学　校　長　松谷 敏樹（福中・福高同窓会特別顧問）
特別顧問　小林　彰（中25回・福中・福高同窓会名誉会長）
副　会　長　今林　泰（高37回・父母教師会会長）
藤　和義（高16回・福中・福高同窓会副会長）
白石 正彦（高17回・同）
林田 スマ（高18回・同）
平木 俊敬（高19回・同）
川原 正孝（高20回・同）
池田 方紀（嘯月会・同）
顧　　問　松本　龍（高22回・福中・福高同窓会顧問）
阿部 弘樹（高32回・同）
井上 博行（高34回・同）
田邊 一城（高51回・同）
相　談　役　大島 久江（高5回・紅梅会会長）
光安 常喜（高12回・福中・福高同窓会相談役）
島田 隆士（高12回・東京同窓会会長）
竹中 駿介（高16回・福中・福高同窓会相談役）
山本 良雄（高22回・関西同窓会会長）
事　務　局　堺　知行（高27回・福中・福高同窓会幹事長）
竹中 駿介（高16回・同 前幹事長）
野口 美由紀（高19回・同 監査）
福本 正司（高22回・同 会計）
福田 美穂（高31回・同 副幹事長）
柳瀬 恵子（高36回・同）
大坪 知弘（高43回・同）
武田 康助（高48回・同 事務局長）
後田 友房（学校事務長）
募金推進委員会　委員長　川原 正孝（高20回・福中・福高同窓会副会長）
副委員長　矢谷　学（高22回・同 常任理事）
同窓会委員　福中・福高同窓会副会長・常任理事・監査・幹事長・副幹事長・会計・事務局長
中８回　八尋 文雄
中13回　大神 博生
中15回　横倉 弘吉
中19回　秋本 隆二
中23回　石飛 英二　笠井 徳三　星加 博二
中24回　稲永 俊昭　合屋 正之助　三田 喜久雄
中25回　塚本　潔　吉田 栄進　徳安　毅　坂井 恵吾
中26回　高椋 茂登

同窓会委員	高１回	南條 淳一郎			
	高２回	門田 敏郎	船木　正	野田　健	
	高３回	豊丹生 昌義	橋本 清史	河邉 鐵夫	
	高４回	石橋 知幸	今井 礼子		
	高５回	池田　敏	川崎 司寿夫	門田 昌子	
	高６回	緒方 信亮	木下 雄二郎	河原 修造	
	高７回	藤野 眞一	臼井 國光	金丸 勝幸	
	高８回	秋山 治夫	中藤 雅子	野田 政春	
	高９回	髙杉 重行	加藤 昌隆	引頭 裕子	
	高10回	児嶋　稔	藤原 正樹	仁科 元政	
	高11回	香月 征男	川原 香二	大村 公雄	吉村 純一
	高12回	久木田 毅	図師 顕輔	大桑　康	
	高13回	古川 卓次	石蔵 利八郎	相浦 圭子	
	高14回	泉原 淳一	嶋野 一晴	武末　徹	
	高15回	大津 邦彦	松尾 高志	林 桂一郎	
	高16回	藤野 建夫	菅　大作	太田 恵美子	
	高17回	星野 光威	今泉 三千俊	西川 ともえ	
	高18回	森 恍次郎	川野 徳雄	藤　誠	
	高19回	山本 太一郎	井上 賢司	古川 公俊	
	高20回	重松 克寛	伊東 孝士	三好 邦男	
	高21回	光安 健司	井原 絹江	藤野 健太郎	
	高22回	西川 長秀	秀島 正明	岡部 章蔵	
	高23回	吉弘 直彦	田中 慶二	中林 榮子	
	高24回	小山 隆三	山口 悦朗	中川 保子	
	高25回	馬渡 和己	澤木 忠雄	仲村 逸夫	
	高26回	田中 龍美	森　一義	内藤 博文	
	高27回	洲　宏	占部 秀樹	髙橋 公祥	
	高28回	庄野 八寿王	宮房 桂子	大村 玲子	
	高29回	吉倉 正行	斉藤 雅彦	宗　正敏	
	高30回	松前 俊哉	宗俊 隆範	江口 正明	
	高31回	牟田口 武史	今林 秀明	舛本 美帆子	
	高32回	手嶋 秀剛	宮本 良平	松嶋　敦	
	高33回	殿元 裕介	田中 伸和	光安 浩一郎	
	高34回	上妻 誠司	古賀 美佐子	林 美佐子	
	高35回	小柳 幹雄	川村 勇人	稲永 孝章	
	高36回	久野 義一	山口 優子	高山 有朋	
	高37回	小田 哲也	能地 宏明	田代 真紀	
	高38回	住吉 圭太	吉川 和毅	長澤 貢多	

同窓会委員	高39回	辻 隆一郎	竹廣 喜一郎	長濱 靖典
	高40回	安河内 健	高倉 美哉	山口 謙太郎
	高41回	金丸 宗継	八重尾 恭彦	三溝 敬史
	高42回	永留 茂実	長澤 真紀	西川 公美子
	高43回	青柳 竜正	菅原 信孝	中島　愛
	高44回	亀山 好秀	日名子 信	柴田 優子
	高45回	長　芳浩	野田 博文	田村 智子
	高46回	前田 憲太郎	黒瀬　哲	調 麻規子
	高47回	倉林 優吉	橋本 夏子	髙木 優夏
	高48回	益田 康弘	髙松 弦一郎	今長谷 大助
	高49回	上田 浩司	森 伸明	田中 良和
	高50回	新谷 良介	黒木 美紗	渡　大樹
	高51回	中村 圭一	佐敷　斉	庵原 正輝
	高52回	松吉 幸男	森川 慎太郎	山田 将臣
	高53回	西田 壮宏	上野　愛	井上　寛
	高54回	安部 紗希	井出 俊輔	栗原 伸行
	高55回	中原 将太	長　祐介	安永 真由
	高56回	宮崎 裕史	渋田　寛	西嶋 美由紀
	高57回	片山 映樹	山口 真平	西川 未来子
	高58回	許斐 健太郎	藤盛 亜紀乃	渡邊 祐介
	高59回	山口 浩介	尾﨑 瑛里子	金子 晃子
	高60回	中冨 裕也	田村 美聡	武田 將揮
	高61回	柚木 大樹	野田 惟仁	田中 沙世
	高62回	森下 優史	古川 由加里	谷川 知沙
	高63回	藤田 将大	寺園 友裕	中尾 花蓮
	高64回	山下 晋作	牟田口 翠	馬屋原 香那
	高65回	甲斐 誼臣	田尻 詩歩	田村　匠
	高66回	横山 晃祥	米多比 良佳	川原 隆弘
	高67回	津村　廉	中上 智文	岡本 凱成
	嘯月会	池田 方紀	赤星 昌幸	小林　允

父母教師会委員　今林　泰（会長）　久保田 文彦（副会長）　猪狩 真寿美（副会長）

学校委員　松谷 敏樹（学校長）　花田 亮二（副校長）　岡本 圭吾（教頭）　後田 友房（事務長）

総務委員会　委員長　阿部 憲之介（高24回・福中・福高同窓会 常任理事）

会計委員会　委員長　白石 正彦（高17回・同 副会長）

記念事業委員会　委員長　今林 泰（高37回・父母教師会 会長）

記念誌編纂委員会　委員長　藤 和義（高16回・福中・福高同窓会 副会長）

嘯月会委員会　委員長　池田 方紀（嘯月会・同 ）